

法学教室 2021年度 内容一覧
2021年4月号 (No.487)～2022年3月号 (No.498)

巻頭言	執筆者	掲載号	頁
読み物としての犯罪白書	川出敏裕	487	1
隠れた行政法判例——「連想ゲーム」風に	斎藤 誠	488	1
人民主権	小島慎司	489	1
書籍の存在感	橋爪 隆	490	1
中央銀行デジタル通貨	神作裕之	491	1
保証契約は無償契約なのか	森田宏樹	492	1
答案の誤字	松下淳一	493	1
刑罰のイメージ	川出敏裕	494	1
1993年の「グローバル化と地方自治」	斎藤 誠	495	1
全国民の代表	小島慎司	496	1
回転寿司と財産犯	橋爪 隆	497	1
東京証券取引所における市場区分の見直し	神作裕之	498	1
法学のアンブレ(49)～(60)			
自学・自習のはじめかた——私家版「自学・自習のすすめ」	野口貴公美	487	2
テーマはタイムリー、中身はダイナソー	上田信太郎	488	2
独り立ちするその日に向けて	川嶋隆憲	489	2
裁判例を読む。	緒方桂子	490	2
「わかったつもり」から脱却するために	小嶋崇弘	491	2
歴史を学んだり、楽しんだりするために	高谷知佳	492	2
教科書を読む	豊田兼彦	493	2
「読む」コツは何か？	池田晴奈	494	2
法文書の前文を読む——法の想像／創造	根岸陽太	495	2
はやく読む、ゆっくり読む、ゆったり読む	馬場圭太	496	2
「謎」を発見し、「解」き明かしながら「読む」	田中晶国	497	2
法学部での読み方	土岐孝宏	498	2
未来志向で学ぶ外国法(1)～(12・完)			
[アメリカ]私人の提起する訴訟の役割	秋元奈穂子	487	4
[イギリス]契約とContract	溜箭将之	488	4
[ドイツ]日曜祝日は働くべからず	三宅雄彦	489	4
[フランス]忘れられる権利	村田健介	490	4
[スウェーデン]家族法における平等の理念の実現	千葉華月	491	4
[韓国]刑務所処遇における国際人権の追求	安部祥太	492	4
[中国]中華人民共和国民法典の歴史と未来	高見澤 磨	493	4
[タイ]タイ憲法裁判所における違憲審査	西澤希久男	494	4
[イスラーム圏]神の法に則った「正しい」金儲け——法学者の知的営為としてのイスラーム金融	桑原尚子	495	4
[ブラジル]親子関係の多様化とママ休暇制度	島村暁代=マシャド・ダニエル	496	4
[ロシア]「危機管理法の大国」ロシア——コロナ・改憲・パターナル国家	渋谷謙次郎	497	4
[アフリカ]法律と権力を見極める必要性(地政学も含めて)	角田進二	498	4

特集

[4月号(487号)]

特集・法学のイントロダクション

I なぜ法学を学ぶのか	緑 大輔	487	12
II 法学は何を学ぶ学問か	平野秀文	487	20
III どうやって法学を学ぶか	大林啓吾・平野秀文・緑 大輔	487	28
IV 法学の考え方を使う	大林啓吾	487	36

[5月号(488号)]

特集・法律の条文, 憲法の条文

憲法の学び始めと条文——憲法 21 条を例に	小島慎司	488	10
I 煽動処罰規定と憲法21条	浅野博宣	488	14
II 刑法 175 条と憲法 21 条	金井光生	488	21
III 選挙運動規制と憲法21条——戸別訪問の禁止をめぐる問題を中心に	門田 孝	488	26
IV 公物の利用関係の規律と憲法21条	玉蟲由樹	488	31
V 名誉の保護と憲法 21 条	上村 都	488	36

[6月号(489号)]

特集1・条文から学ぶ刑法

I やむを得ずにした行為	坂下陽輔	489	10
II 罪を犯す意思	数中 悠	489	15
III 暴行又は脅迫	嶋矢貴之	489	20
IV 遺棄	十河太朗	489	26
V 占有	内田幸隆	489	32
VI 電磁的記録——デジタル刑法の基礎	西貝吉晃	489	38

特集2・「書かれたもの」を疑う——法学の理解を深めるステップ

1 法学の扉の先へ	工藤達朗	489	44
2 レポートを書く——深く理解する	田高寛貴	489	45
3 ゼミで議論する——他者の視点に立つ	小名木明宏	489	50

[7月号(490号)]

特集・条文だけからはわからない民法の解釈

I 表見代理における相手方の善意・無過失と「正当な理由」	野々上敬介	490	10
II 無権代理人の責任	佐々木典子	490	15
III 特定物の引渡しをなすべき状態	古谷貴之	490	20
IV 債務の履行に代わる損害賠償債務と 反対給付債務の同時履行の抗弁権	松井和彦	490	25
V 通常損耗や経年劣化による損傷の原状回復義務	森山浩江	490	30
VI 子の養育費の支払請求	羽生香織	490	36

[8月号(491号)]

特集1・事例で学ぶ国際法の基本問題

I 慣習国際法の意義	山田卓平	491	10
II 条約の留保の意義	中野徹也	491	15
III 条約解釈と解釈手法	山形英郎	491	20
IV ソフトローの意義	内記香子	491	25
V 国家管轄権の意義	竹内真理	491	30
VI 国家責任の発生	萬歳寛之	491	35
VII 遵守手続(および履行確保手続)の意義	西村智朗	491	41

特集2・法の働きを知る——法社会学案内

1 法社会学とはどんな学問?	飯田 高	491	47
2 法社会学の考え方			
①データ・統計分析	石田京子	491	52
②質的分析——インタビュー調査の考え方と実践	平田彩子	491	57
3 法社会学が目指すところは?	齋藤宙治	491	62

[9月号(492号)]

特集・条文から進める行政法の学び

I 行政法規範の種類と意義	大江裕幸	492	10
II 委任立法——ゆだねるものとゆだねられるもの	野口貴公美	492	16
III 条例についての個別法の定め——個性発揮の手掛かり?それとも…	筑紫圭一	492	21
IV 行政裁量と条文・行為形式	高橋正人	492	26
V 行政事件訴訟法36条——無効等確認訴訟の提起に関する要件	湊 二郎	492	31

[10月号(493号)]

特集1・条文から考える会社法の基本問題

I 会社の目的	松元暢子	493	10
II 利益供与——会社法120条を中心に	行澤一人	493	15
III 株主総会および取締役会決議における特別利害関係の意義	萬澤陽子	493	20
IV 会社の業務執行	尾崎悠一	493	25
V 不公正な新株発行に係る規律	清水円香	493	30
VI 組織再編行為・締出しに際する株式買取請求権	宮崎裕介	493	36
VII 遵守手続(および履行確保手続)の意義	西村智朗	491	41

特集2・経済法は楽しい

1 不当な取引制限 ——AIはカルテルをすることができるのか	土佐和生	493	44
2 私的独占・不公正な取引方法 ——データやネットワーク効果はどのようにして競争を損なうのか	井畑陽平	493	48
3 優越的地位の濫用 ——デジタル・プラットフォーム事業者への個人情報の提供は 独禁法によりどのように規制されるのか	河谷清文	493	52
4 企業結合規制 ——Yahoo!ニュースとLINE NEWSの統合や PayPayとLINE Payの統合は問題ないのか	田平 恵	493	57

[11月号(494号)]

特集・条文で学ぶ民事訴訟法

I 補助参加(42条)	名津井吉裕	494	10
II 将来給付の訴えの利益(135条)	小林 学	494	16
III 重複起訴の禁止(142条)	川嶋隆憲	494	22
IV 釈明権(149条)	越山和広	494	28
V 文書提出命令(220条)	濱崎 録	494	33
VI 和解の効力(267条)	西川佳代	494	38

[12月号(495号)]

特集1・公務員という仕事

市役所職員	橋本悠也	495	10
県庁職員	南 雄人	495	14
中央省庁職員	松木 拓	495	18
労働基準監督官	望月千尋	495	22
国税専門官	阪上実希	495	26
裁判所書記官	湯本達生	495	30
家庭裁判所調査官	植廣史絵	495	34
刑務官	猿渡 勇	495	38

特集2・判例の読み方を身につける

1 判例と評釈, その読み方と探し方	亀井源太郎	495	44
2 インスリン不投与事件判例を読む	濱田 新	495	49
3 詐欺罪の最高裁判例を読む——暴力団員によるゴルフ場利用事案	富川雅満	495	54

[1月号(496号)]

特集・条文から見る刑事訴訟法と憲法の関係

I 令状主義	池亀尚之	496	10
II 弁護人依頼権と接見交通権	石田倫識	496	16
III 裁判の公開	堀田周吾	496	22
IV 自白法則	川島享祐	496	28
V 証人審問権と伝聞法則	大谷祐毅	496	35

【2月号(497号)】

特集1・条文ではない法規範——ソフトローとは何か

I 総論			
ソフトローとは何か	飯田 高	497	10
II ソフトローが働く具体的な場面			
行政分野	齋藤健一郎	497	15
コーポレートガバナンス分野	野田 博	497	20
商取引分野	清水真希子	497	25
エンタメ(アニメ)分野	桶田大介	497	29
III ソフトローの広がり			
ビジネスと人権	大西祥世	497	34
特集2・宇宙と法学			
1 行政法学から見た宇宙法	原田大樹	497	41
2 宇宙有人飛行と国際公法	石井由梨佳	497	46
3 スペースデブリで問われる宇宙の環境法	堀口健夫	497	50
4 宇宙探査と宇宙資源開発の法	佐藤雅彦・税所大輔	497	54

【3月号(498号)】

特集「法主体」を考える			
人についての2層の議論——本特集へのご案内	小島慎司	498	9
I 人と国籍			
憲法学における「法主体」	柳井健一	498	14
越境移動の時代における国籍と人間——無国籍者・「難民」の取扱いを中心に	小畑 郁	498	18
II 死者			
法主体としての死者を考える	仮屋篤子	498	24
死んだ著作者の残したものは	長塚真琴	498	29
III 個人ではないもの			
行政事件訴訟において「公益」を実現する法主体——最近の事例を素材として	西上 治	498	35
「法存在」と「法主体」——現代科学技術社会における刑事責任の分配を手掛か	稲谷龍彦	498	40

創刊40周年記念連載 法学教室プレイバック——あの特集、あの連載

【商法分野】	小塚荘一郎／松井智予	487	46
【民事訴訟法、倒産法分野】	長谷部由起子／金 美紗	488	42
【知的財産法分野】	駒田泰土	489	62
【国際法分野】	森田章夫	489	66
【環境法分野】	清水晶紀	490	42
【労働法分野】	石井保雄	490	46
【租税法分野】	増井良啓	491	67
【法哲学分野】	山田八千子	491	71
【経済法分野】	武田邦宣	492	36
【国際私法分野】	横溝 大	492	40

オリンピック・パラリンピックから考えるスポーツと法

特別座談会〈前編〉	早川吉尚・興津征雄・南野 森	489	70
特別座談会〈後編〉	早川吉尚・興津征雄・南野 森	490	50

国会概観

第204回国会主要成立法律	高森雅樹	492	44
---------------	------	-----	----

時の問題			
国会の種類と会期制をめぐる諸問題	奥村公輔	487	54
高レベル放射性廃棄物最終処分施設の設置手続をめぐる法的問題	川合敏樹	487	60
住民投票の現在——横浜市IRと大阪都構想	小西 敦	489	83
デジタルプラットフォームの公共性と表現の自由	平地秀哉	490	60
個人情報保護法改正とデジタル改革関連法	藤原静雄	493	61
「日本国憲法の改正手続に関する法律」のさらなる改正について	矢島基美	494	43
福島第一原子力発電所からの処理水の海洋放出と国際法	西本健太郎	496	43
「アフガニスタン・イスラム首長国」タリバン政権と政府承認	酒井啓亘	498	46
判例クローズアップ			
役員選任決議取消訴訟における訴えの利益(最高裁令和2年9月3日判決)	小林俊明	487	66
2019(令和元)年参議院議員選挙と投票価値の平等(最高裁令和2年11月18日大法廷判決)	斎藤一久	488	52
地方議会議員に対する出席停止処分と司法審査(最高裁令和2年11月25日大法廷判決)	井上武史	488	58
宗教的施設に対する公有地の使用料免除と政教分離(最高裁令和3年2月24日大法廷判決)	高畑英一郎	490	66
越境リモートアクセスにより収集された証拠の証拠能力とわいせつ動画の投稿を促すサイト管理者の刑事責任(最高裁令和3年2月1日決定)	四方 光	491	75
建設アスベスト最高裁4判決(最高裁令和3年5月17日判決)	桑原勇進	494	65
新法解説			
令和3年少年法等の一部を改正する法律	小木曾 綾	494	51
令和3年著作権法改正 ——インターネットを通じた図書館資料へのアクセスの容易化と放送番組の同時配信等における権利処理の円滑化	村井麻衣子	494	58
民法等の一部を改正する法律・相続等により取得した土地所有権の国庫への帰属に関する法律(上)	佐久間 毅	495	59
民法等の一部を改正する法律・相続等により取得した土地所有権の国庫への帰属に関する法律(下)	佐久間 毅	496	50
講座			
憲法 教科書のその先へ(13)~(24・完)	曾我部真裕		
憲法24条と婚姻の自由		487	100
投票価値の平等		488	65
表現の自由(1)——総論		489	90
表現の自由(2)——性表現		490	73
表現の自由(3)——表現の自由と著作権		491	82
表現の自由(4)——インターネットがもたらした変容		492	51
表現の自由(5)——政府言論の法理		493	68
表現の自由(6)——表現等への政府援助とパブリック・フォーラム論		494	71
学問の自由		495	70
職業の自由		496	60
財産権		497	60
人身の自由と被拘禁者の権利保障		498	51

行政法教室——トピックで学ぶ(1)～(12)			
行政法の基礎	渡井理佳子	487	76
行政組織	正木宏長	488	74
行政基準	正木宏長	489	99
行政行為	渡井理佳子	490	81
行政行為の瑕疵／行政行為の職権取消し・撤回	大橋真由美	491	91
行政手続	大橋真由美	492	60
行政裁量	正木宏長	493	77
行政指導	大橋真由美	494	80
行政計画, 行政契約	正木宏長	495	78
行政調査	渡井理佳子	496	69
行政の実効性確保	大橋真由美	497	68
情報公開・個人情報保護	渡井 理佳子	498	60
日本家族法を考える(1)～(12)			
日本家族法のルーツを考える	水野紀子	487	85
戦後改正を考える		488	82
家族観と親族を考える		489	107
婚姻の意義を考える		490	89
婚姻の成立を考える		491	99
婚姻障碍事由を考える		492	68
婚姻の効力を考える		494	88
夫婦の氏を考える		495	86
夫婦の財産関係を考える		496	77
離婚法の変遷と特徴を考える		497	76
離婚の成立を考える		498	68
ケースで探索・会社法——理解を深め, もう少し先へ(13)～(24・完)			
企業買収等: 組織再編行為の差止めと無効(2)	伊藤靖史	487	109
株主総会: 株主提案権		488	88
株主総会: 決議の取消しの訴えの利益		489	114
取締役: 注意義務と任務懈怠責任		490	95
取締役: 第三者に対する責任		491	105
取締役: 総会決議による解任		492	75
資金調達: 払込みの仮装		493	85
資金調達: 新株予約権		494	95
計算: 自己株式の取得		495	93
企業買収等: 会社分割		496	84
企業買収等: 締め出し		497	82
設立: 財産引受け・開業準備行為		498	75

知的好奇心を刺激する民事訴訟法(13)～(24・完)		林 圭介		
第6章 判決(その1)			487	117
第6章 判決(その2)			488	96
第6章 判決(その3)			489	122
第6章 判決(その4)			490	103
第7章 判決によらない訴訟の終結			491	113
第8章 複雑訴訟(その1)			492	83
第8章 複雑訴訟(その2)			493	93
第8章 複雑訴訟(その3)			494	103
第9章 上訴・再審			495	102
第10章 民事紛争解決手続(その1)			496	92
第10章 民事紛争解決手続(その2)			497	90
終章			498	83
刑法総論の基礎にあるもの(1)～(12)		安田拓人		
実行行為と因果関係			487	91
故意と錯誤(1)			488	103
故意と錯誤(2)			489	129
不作為犯			490	110
過失犯			491	120
違法性総論			492	90
正当防衛(1)			493	100
正当防衛(2)			494	110
正当防衛(3)			495	109
過剰防衛(量的過剰[事後的過剰])			496	99
誤想防衛(正当化事情の錯誤)			497	97
緊急避難			498	90
事例から考える刑事証拠法(17)～(22・完)				
第11講 違法収集証拠排除法則——判断基準と判断要素(上)	池田公博		487	124
第11講 違法収集証拠排除法則——判断基準と判断要素(下)	池田公博		488	113
第12講 派生証拠の証拠能力	川出敏裕		489	139
座談会 刑事証拠法の考え方と学び方(1)	川出敏裕・池田公博・笹倉宏紀・ 成瀬 剛 〈ゲスト〉遠藤邦彦・宮崎香織・ 宮村啓太・山本 衛		490	119
座談会 刑事証拠法の考え方と学び方(2)	川出敏裕・池田公博・笹倉宏紀・ 成瀬 剛 〈ゲスト〉遠藤邦彦・宮崎香織・ 宮村啓太・山本 衛		491	129
座談会 刑事証拠法の考え方と学び方(3)	川出敏裕・池田公博・笹倉宏紀・ 成瀬 剛 〈ゲスト〉遠藤邦彦・宮崎香織・ 宮村啓太・山本 衛		492	99
座談会 刑事証拠法の考え方と学び方(4・完)	川出敏裕・池田公博・笹倉宏紀・ 成瀬 剛 〈ゲスト〉遠藤邦彦・宮崎香織・ 宮村啓太・山本 衛		492	99

演習		毎号
憲法	佐々木くみ	
行政法	戸部真澄	
民法	川地宏行	
商法	久保大作・松中 学	
民事訴訟法	安西明子	
刑法	嘉門 優	
刑事訴訟法	吉開多一	

判例セレクト Monthly			
判例の動き			
憲法	毛利 透	495	135
行政法	中原茂樹	495	137
民法	石田 剛	495	139
商法	田澤元章	495	141
民事訴訟法	越山和広	495	143
刑法	只木 誠	495	145
刑事訴訟法	小木曾綾	495	147

憲法			
あん摩マッサージ指圧師養成施設非認定事件控訴審判決 (東京高判令和2・12・8)	武田芳樹	487	151
国籍法11条1項の合憲性(東京地判令和3・1・21)	毛利 透	489	165
裁判上の離婚に伴う親権者指定の合憲性(東京地判令和3・2・17)	巻美矢紀	489	166
医薬品ネット販売規制の合憲性(最判令和3・3・18)	櫻井智章	490	145
特例水準の段階的解消に伴う年金額減額の合憲性 (徳島地判令和2・12・23)	武田芳樹	491	153
婚姻を異性間に限ることの合憲性(札幌地判令和3・3・17)	毛利 透	492	127
夫婦同氏制に関する民法750条・戸籍法74条1号の合憲性 (最大決令和3・6・23)	巻 美矢紀	493	137
映画「宮本から君へ」助成金不交付事件(東京地判令和3・6・21)	櫻井智章	494	135
「表現の不自由展かんさい」利用承認取消しの効力停止決定 (大阪地決令和3・7・9)	武田芳樹	495	150
退去強制の執行と裁判を受ける権利(東京高判令和3・9・22)	毛利 透	496	125
旧警備業法の憲法22条1項・14条1項適合性(岐阜地判令和3・10・1)	巻 美矢紀	497	123
死刑確定者の信書発出制限の適法性(大阪地判令和3・11・11)	櫻井智章	498	115

行政法			
原子力規制委員会がした関西電力大飯原発3、4号機の設置変更許可が 違法であるとされた事例(大阪地判令和2・12・4)	米田雅宏	487	152
誤った行政庁に対する審査請求に係る不作為の違法確認訴訟 (最判令和3・1・22)	中原茂樹	488	137
辺野古サンゴ礁訴訟高裁判決(福岡高那覇支判令和3・2・3)	飯島淳子	489	167
「違法行為の転換」の可否(最判令和3・3・2)	徳本広孝	490	146
刑務所内で起きた被收容者の暴力行為と制止権限不行使の違法性 (札幌地判令和2・5・29)	米田雅宏	491	154
建設アスベスト訴訟最高裁判決(最判令和3・5・17)	中原茂樹	492	128

被收容者が收容中に受けた診療に関する保有個人情報の開示請求対象性(最判令和3・6・15)	飯島淳子	493	138
辺野古サンゴ礁訴訟最高裁判決(最判令和3・7・6)	徳本広孝	494	136
「表現の不自由展かんさい」開催にかかるギャラリー利用承認の取消処分執行停止事件(大阪地決令和3・7・9)	米田雅宏	495	151
被災者生活再建支援金支給決定取消しの適法性(最判令和3・6・4)	中原茂樹	496	126
沖縄高江への愛知県警機動隊派遣住民訴訟控訴審判決(名古屋高判令和3・10・17)	飯島淳子	497	124
陸上自衛官懲戒免職処分取消等請求事件(札幌地判令和2・11・16)	徳本広孝	498	116

民法

同一の当事者間に数個の元本債務が存在する場合における充当指定のない一部弁済と消滅時効の中断(最判令和2・12・15)	田中 洋	487	153
自筆遺言証書に真実遺言が成立した日と相違する日の日付が記載されている場合の遺言の有効性(最判令和3・1・18)	羽生香織	487	154
債務不履行における弁護士報酬の賠償(最判令和3・1・22)	村田大樹	488	138
父母以外の第三者による面会交流の申立ておよび監護者指定の申立て(最決令和3・3・29)	羽生香織	489	168
いわゆる累積的競合事例における因果関係の推定(最判令和3・5・17)	山城一真	492	129
夫婦同氏関連規定の合憲性(最大決令和3・6・23)	石田 剛	493	139

商法

有価証券届出書の財務情報虚偽記載における引受証券会社の責任(最判令和2・12・22)	得津 晶	487	155
招集株主によるクオカード贈与の表明と株主総会開催禁止の仮処分(東京高決令和2・11・2)	田澤元章	488	139
社債への利息制限法1条の適用の可否(最判令和3・1・26)	潘 阿憲	488	140
相続により共有された株式の権利行使者の指定(東京地判平成31・4・24)	伊藤雄司	489	169
少数株主による総会招集の許可と特段の事情(東京高決令和2・11・10)	潘 阿憲	490	147
公開買付を前置しないキャッシュアウトのための2回目の株式併合(東京地判令和3・1・13)	得津 晶	491	155
新株予約権の行使によりなされる新株発行の差止め(名古屋地一宮支決令和2・12・24)	田澤元章	492	130
監査役1人のみとなった場合の報酬増額決定(千葉地判令和3・1・28)	潘 阿憲	493	140
株式併合後に株式買取請求権を行使している旧株主による株主名簿閲覧謄写請求(最判令和3・7・5)	得津 晶	494	137
会計限定監査役の調査義務(最判令和3・7・19)	伊藤雄司	494	138
事業活動の期待できない株式会社の解散事由(東京地判令和2・6・22)	得津 晶	495	152
少数株主締出しを目的とする株式併合と株主平等原則・不当決議(札幌地判令和3・6・11)	田澤元章	496	127
効力発生条件を付した株式分配型スピンオフに関する株主提案の適法性(京都地決令和3・6・7)	潘 阿憲	497	125
買収防衛策発動に関する株主意思確認総会の決議要件(東京高決令和3・11・9)	伊藤雄司	498	117

民訴法			
独占的通常実施権の許諾を受けた者による特許権者と第三者との間の債務不存在確認の訴えの利益(最判令和2・9・7)	濱崎 録	487	156
仮差押命令の処分禁止効とその範囲(最判令和3・1・12)	越山和広	488	141
非財産権上の請求に係る訴えで主張する利益の共通性と訴額(最決令和3・4・27)	高田賢治	491	156
弁護士職務基本規程57条に違反する訴訟行為について、相手方が異議を述べ、裁判所に対してその訴訟行為の排除を求めることができないとした事例(最決令和3・4・14)	堀 清史	492	131
検証物提示義務を免れる正当事由の判断(最決令和3・3・18)	濱崎 録	493	141
遺言有効確認の訴えの提起が信義則に違反しないものとした事例(最判令和3・4・16)	堀 清史	495	153
免責を受けた債務者の相続人が担保不動産競売において買受け申出することの可否(最決令和3・6・21)	高田賢治	496	128
懲罰的損害賠償が含まれる外国判決に対して弁済があった場合の執行判決を求めることができる範囲(最判令和3・5・25)	濱崎 録	496	129
財産分与審判の申立てを却下する審判と抗告の利益(最決令和3・10・28)	越山和広	497	126
刑訴法			
鉄道のキセル乗車と電子計算機使用詐欺罪の成否(名古屋高判令和2・11・5)	和田俊憲	487	157
虚偽の申告と自首の成否(最決令和2・12・7)	十河太朗	488	142
死体遺棄罪の成否(福岡地判令和3・1・21)	高橋直哉	489	170
進行制御困難高速度運転による危険運転致死傷罪の成否(名古屋高判令和3・2・12)	杉本一敏	490	148
白ロム化後の転売目的を秘した携帯電話機の購入と詐欺罪(大阪高判令和元・11・26)	和田俊憲	491	157
自招侵害と正当防衛の成否(横浜地判令和3・3・19)	十河太朗	492	132
アダルトサイトの管理・運営者に対するわいせつ電磁的記録記録媒体陳列罪及び公然わいせつ罪の共同正犯の成否(最決令和3・2・1)	高橋直哉	493	142
カードすり替え窃盗につき遅くともインターホンを押した時点で着手を認めた事例(横浜家川崎支決令和2・1・14)	杉本一敏	494	139
住居の敷地と住居侵入罪の客体(大阪高判令和3・7・16)	和田俊憲	495	154
自転車の一時使用について占有離脱物横領罪の成立が認められた事例(福岡高判令和3・3・29)	十河太朗	496	130
ひそかに睡眠導入剤を摂取させて自動車を運転させる行為と殺人の故意(最判令和3・1・29)	高橋直哉	497	127
被留置者金品出納簿の「文書の性質」と名義人の承諾(大阪地判令和3・10・20)	杉本一敏	498	118

刑訴法			
公判前整理手続後の訴因変更の可否(高松高判令和元・12・24)	佐藤由梨	487	158
判決に影響を及ぼすことが明らかな訴訟手続の法令違反(釈明義務違反)があるとして、原判決を破棄した事例(東京高判令和3・1・13)	丸橋昌太郎	488	143
内視鏡による嚥下物の強制採取(千葉地判令和2・3・31)	黒澤 睦	489	171
国際捜査共助によらずにリモートアクセスにより収集した証拠の証拠能力(最決令和3・2・1)	田中優企	490	149
少年審判における職権証拠調べと家庭裁判所の合理的裁量(東京高決令和元・10・16)	佐藤由梨	491	158
控訴審における第1審無罪判決・破棄自判に必要な事実の取調べ(最決令和3・5・12)	丸橋昌太郎	492	133
裁判員裁判対象事件からの除外(大阪高決令和2・10・27)	黒澤 睦	493	143
常習一罪を構成する範囲と一事不再理効の及ぶ範囲(最決令和3・6・28)	田中優企	494	140
違法収集証拠の主張があった場合の収集手続の違法の判断(最判令和3・7・30)	佐藤由梨	495	155
被害者の員面調書につき、同人の供述拒否等により法321条1項3号にあたることされた事例(宇都宮地足利支判令和3・3・17)	丸橋昌太郎	496	131
手続遅延による少年法不適用と量刑(東京高判令和元・11・26)	黒澤 睦	497	128
控訴審による第1審有罪(心神耗弱)判決破棄・自判のための「事実の取調べ」の要否(最判令和3・9・7)	田中優企	498	119
海外Topics			
REPORT			
早慶合同ゼミナール 不動産の譲渡と賃貸借をめぐる諸問題 ——詐欺行為取消権の行使および不動産賃貸借の対抗力を中心として	水津太郎・田高寛貴・白石 大	488	146
第20回インターカレッジ・ネゴシエーション・コンペティション	森下哲朗	498	121
その他の記事			
第71回“社会を明るくする運動”が推進する「生きづらさを包み込むコミュニティづくり」	法務省保護局	490	158
法律書ランキング			
全国大学生協／丸善ジュンク堂書店(2021年1月～3月)		488	159
全国大学生協／紀伊国屋書店(2021年4月～6月)		491	167
全国大学生協／丸善ジュンク堂書店(2021年7月～9月)		494	147
全国大学生協／紀伊国屋書店(2021年10月～12月)		497	135
Book Information			
山本敬三=中川丈久 編『法解釈の方法論——その諸相と展望』		487	45
田中 亘=森・濱田松本法律事務所 編『会社・株主間契約の理論と実務——合併事業・資本提携・スタートアップ投資』		487	73
上野達弘 編『教育現場と研究者のための著作権ガイド』		487	133
中西 正=中島弘雅=八田卓也=青木 哲『民事執行・民事保全法[第2版]』		488	50
中野明安=津久井 進 編『防災・減災の法務——事業継続のために何をすべきか』		488	51
佐久間 修=橋本正博 編／岡部雅人=嘉門 優=南 由介=森永真綱 著『刑法の時間』		488	144
十河太郎『刑法事例演習——メソッドから学ぶ』		488	145
山本敬三監修／香川 崇=竹中悟人=山城一真 著『民法1 総則』		488	154

穴戸常寿=石川博康 編著／内海博俊=興津征雄=齋藤哲志=笹倉宏紀=松元暢子 著『法学入門』	489	61
多田 望=長田真里=村上 愛=申 美穂『国際私法』	489	149
早川吉尚 編『オリンピック・パラリンピックから考える スポーツと法』	490	59
渋谷秀樹『憲法を読み解く』	490	129
愛知靖之=前田 健=金子敏哉=青木大也『知財判例コレクション』	490	151
長谷部恭男『法律学の始発駅』	491	160
中里 実=佐藤英明=増井良啓=渋谷雅弘=淵 圭吾 編『租税判例百選〔第7版〕』	491	161
深町晋也『家族と刑法——家庭は犯罪の温床か？』	492	111
磯村 保『事例でおさえる民法 改正債権法』	492	135
佐伯仁志=大村敦志 編集代表『ポケット六法 令和4年版』	493	42
神作裕之=藤田友敬=加藤貴仁 編『会社法判例百選〔第4版〕』	493	121
名津井吉裕=鶴田 滋=八田卓也=青木 哲『事例で考える民事訴訟法』	494	119
森川幸一=兼原敦子=酒井啓亘=西村 弓 編『国際法判例百選〔第3版〕』	494	141
小泉良幸=松本哲治=横大道 聡 編『憲法判例コレクション』	495	69
山本敬三監修／鳥山泰志=藤澤治奈 著『民法3 担保物権』	495	119
道垣内正人=中西 康 編『国際私法判例百選〔第3版〕』	495	157
村上裕章『スタンダード行政法』	496	42
小林真理=小島 立=土屋正臣=中村美帆『法から学ぶ文化政策』	496	108
法学教室編集室 編『問題演習 基本七法 2021』	496	109
江藤祥平=大塚智見=遠藤聡太=粟谷しのぶ=辰野嘉則=田原一樹『大学生活と法学』	497	59
大石 眞『憲法概論Ⅰ——総説・統治機構』／『憲法概論Ⅱ——基本権保障』	497	106
曾野裕夫=松井和彦=丸山絵美子『民法Ⅳ契約』	497	107
森田宏樹 監修, 丸山絵美子=吉永一行=伊藤栄寿=三枝健治 著『ケースで考える債権法改正』	498	98
村中孝史=荒木尚志 編『労働判例百選〔第10版〕』	498	99

Reader's Voice

毎号

別冊付録

法学科目のススメ

487